

日本交通心理学会会員各位

2022年4月6日

ICTTP7で研究発表される若手学会員への補助事業のお知らせ

日本交通心理学会では、2022年に開催予定の国際会議に参加される若手学会員向けに参加支援のための補助事業を行います。対象となる大会は、第7回国際交通運輸心理学会大会 (ICTTP7)です。研究発表の申込みをされた方におかれましては、提出した抄録内容に基づき、発表可否の通知が大会事務局から届いていることと思います。

本学会の補助事業は、筆頭もしくは責任発表者として申込んだ研究発表が採択され、かつ ICTTP7で研究発表を行う方を対象とします。交通心理学の今後の発展のため、40歳以下の学会員 (2022年3月31日時点の満年齢、学生会員含む)に、大会参加にかかる諸費用に対して、原則として、1人あたり35万円を上限として補助する予定です。国際交流委員会において、補助対象者 (5人程度までを予定) の選考を行います。

研究成果を国際会議で発表し、世界中の研究者と積極的に意見交換しようという意欲のある方、あるいは、すでに大会に提出した抄録が採択されている方で、応募資格のある学会員は、下記を確認の上、奮ってご応募ください。

なお、新型コロナウイルスの感染状況などの国際情勢の変化によっては、補助事業の内容に変更が生じる可能性があります。

記

1 ICTTP7の開催日程・場所

日程 2022年8月23日から25日まで

開催場所 スウェーデン王国 ヨーテボリ

詳細は、大会ホームページ <https://icttp2020.se/> をご確認ください。

2 応募方法

発表者 (応募者) の経歴・研究略歴 (書式自由) 及び大会事務局に提出した研究抄録、大会事務局から送付された発表採択通知メールの写しとともに、下の送付先にお送りください。

提出締切り **2022年6月15日**

選考結果の通知 2022年7月初旬を予定

送付・問合せ先

国際交流委員会 Email: jatp-int@list.waseda.jp

3 補助の種類と範囲

○ 補助の種類

以下の異なる2種類の補助形態があります。

① 全額補助タイプ

大会参加に必要な費用全額を補助します (上限35万円)。

また、補助対象者となった場合は、当該発表内容に基づく研究内容を、研究発表後おおむね1年以内に、学会誌「交通心理学研究」に投稿することを義務づけます。

② 部分補助タイプ

10万円程度を上限として、必要な費用を補助します。

その場合、大会参加報告書を提出していただきます（下記4参照）。

①と②のうち、希望する形態を選択してください。あるいは、「第1希望①、第2希望②」のように、第2希望まで明記するようにお願いします。

○ 補助の範囲

補助の対象は、参加登録費・航空運賃・日本国内及び開催地国内の移動にかかる運賃・宿泊費であり、国際交流委員会が合理的かつ必要最低限と認めた範囲内とします。

所属機関や研究費から参加に必要な費用が部分的に補助される場合、あるいは費用が全く補助されない方を対象とします。応募者の所属機関や研究費から参加費が全額補助される場合は、補助事業の対象外とします。

4 補助決定後の手続き

補助対象者となった方には、支出した費用にかかる領収書等の提出をお願いする予定です。補助金は、帰国後、大会参加証を提示いただいた後に口座振込みします。また、補助対象者全員に、帰国後おおむね1か月以内に、大会参加報告書を提出していただきます。

以上

国際交流委員会